

シラユキコヤガ *Euloastra sasakii* Sugi

【選定理由】

特定の環境で確認されており、その生息環境が激減している。

【形態】

開張 13～15mm、頭部および胸背部は黒褐色、前翅は白地に外縁部と外横部に幅広の黒条線がある。後翅は無紋、腹部と共にやや黄色を帯びる。



豊田市下川口, 2008年7月10日, 間野隆裕 採集

【分布の概要】

【県内の分布】

これまで豊田市田茂平(杉, 1990; 田中ほか, 1991)と、豊橋市葦毛湿地(中村ほか, 1996)、豊田市下川口(間野・宮野, 2008)及び日進市岩藤町ほか(田中, 2015)で記録されている。

【国内の分布】

全国的にまれで、愛知県のほか秋田県(井上ほか, 1982)、岐阜県(船越・今井, 1991)、三重県(間野, 2004)、福井県(岸田, 2011)などわずかな記録しか見られない。

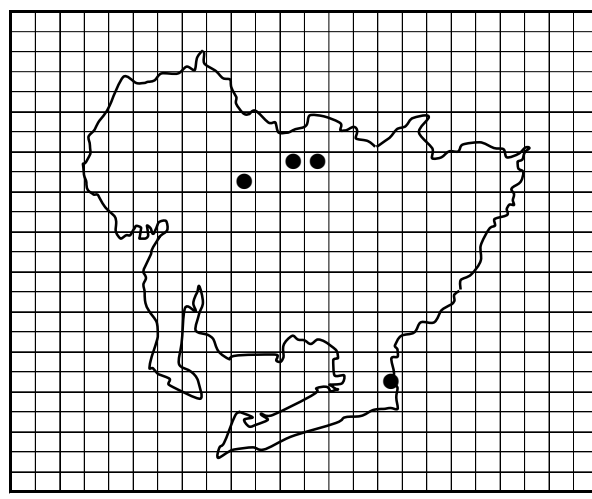
【世界の分布】

現状では日本特産種。

【生息地の環境／生態的特性】

湿地のみから得られており、幼虫の食草としてヌマガヤが報告されている(中村ほか, 1996)。

県内分布図



【現在の生息状況／減少の要因】

生息環境としてはエゾスジトウと同様、貧栄養湿地で、その湿地環境の減少が、本種の減少要因として大きいと考えられる。

【保全上の留意点】

生息環境である湿地環境の保全が急務である。

【引用文献】

- 船越進太郎・今井滋行, 1991. スゲドクガ、シラユキコヤガ岐阜県における記録. 誘蛾燈, 125: 99-100.  
岸田泰典ほか, 2011. 日本産蛾類標準図鑑. II. 学習研究社.  
間野隆裕, 2004. 第5章 昆虫 第10節 チョウ目(ガ類). 上野市史 自然編: 723-747, 995-1030. 上野市.  
間野隆裕・宮野昭彦, 2008. カバフキシタバ・シラユキコヤガ・エゾスジトウの愛知県豊田市の記録. 誘蛾燈, (194): 105-107.  
中村正直・工藤広悦・内藤幸之助, 1996. 葦毛湿地(豊橋市岩崎町)で獲られた蛾類目録(葦毛第2湿地(指定外地)の蛾類調査報告4). 蛾類通信, 189: 223-230.  
杉 繁郎, 1990. シラユキコヤガの第二の産地と生息環境の知見. 蛾類通信, 157: 99-100.  
田中多喜彦, 2015. 第8章 昆虫 第7節 チョウ目のガ類. 日進市史: 418-437. 日進市.  
田中 蕃ほか, 1991. 愛知県の蛾類. 愛知県の昆虫(下), pp.96-416. 愛知県.

(間野隆裕)